

# ご 挨拶

社団法人 日本馬術連盟

会 長 千 玄 室

全日本エンデュランス馬術大会2004が、今年も9月25・26日の両日、鹿追町ライディングパーク特設コースで開催されることはご同慶に耐えません。

この大会は、第1回から鹿追町で行われており、今年で5年目を迎えましたが年毎に参加者も増加し、秋の北海道のイベントとして全国から乗馬愛好者の方々が集まり、盛り上がりを見せてきたことは喜ばしい限りです。

一般の人々にとって普段の乗馬の延長線上で参加できることから、今後とも鹿追町の秋の風物詩として定着していくことを期待します。

人間では、日々のジョギングが各種マラソン大会の参加につながるように、エンデュランス競技も乗馬のマラソンとして、今後益々の発展が期待されます。

エンデュランスは、老若男女を問わず、また120キロ、80キロの草原、山間を2日間にわたり駆けめぐる自然回帰の21世紀型スポーツであり、今回参加される選手の皆様は、楽しく、また、愛馬とのハーモニーを大切にされ、完走めざして日頃の練習の成果を発揮されることを望みます。

最後に、当大会の開催にご尽力賜りました大会役員・関係者各位に対しまして深甚なる感謝の意を表してご挨拶といたします。

## 馬 スポーツ 憲章

- 1 . 全ての馬術スポーツにおいて、馬は最も重要な存在として扱わなければならない。
- 2 . 馬のウェルフェアは、生産者、トレーナー、騎乗者、所有者、馬購買仲介人、競技会の主催者、後援者、役員などのいかなる要求よりも、優先されなければならない。
- 3 . 馬の取扱いや獣医学的治療は、馬の健康とウェルフェアを守るために実施されなければならない。
- 4 . 栄養、健康、衛生設備、安全面における常に高い水準の環境を奨励し、維持しなくてはならない。
- 5 . 馬を輸送する時には、適切な換気、飼料、飲料水、そして馬の健康を維持できる環境を整えなければならない。
- 6 . 調教や騎乗技術に関する教育、ならびに馬の健康に関する研究推進に努力しなければならない。
- 7 . 馬のウェルフェアのためには、騎乗者の健康と技術は欠くことのできないものである。
- 8 . いかなる騎乗法あるいは調教法においても、馬が生き物であることを考慮すべきであり、F E I が虐待とみなす行為は決して行ってはならない。
- 9 . 各国の馬術連盟は、その傘下の人や団体が馬のウェルフェアを尊重するように十分に監督しなくてはならない。
- 10 . 馬の健康とウェルフェアに関する馬術競技の国内・国際諸規程は、国内・国際競技会の期間中に限らず、調教時にも尊重されなければならない。競技に関する諸規程は、馬のウェルフェアを保証するために常に見直さなければならない。

## 馬のウェルフェアのための F E I馬スポーツ憲章

国際馬術連盟（F E I）は、国際的な馬スポーツに関わるすべての者がF E I馬スポーツ憲章を遵守し、如何なる場合にも馬のウェルフェアを最優先して、決して競合的または商業的な影響を受けてはならないことに同意し、これを受け入れることを求めるものである。

- 1 . 競技出場への準備段階や競技馬の調教段階のいずれの時点においても、馬のウェルフェアが他のどのような要求よりも優先されなければならない。そこには、馬の飼養管理、トレーニング、装蹄、馬装具、輸送などの良質で適切な対応が求められる。
- 2 . 競技馬と選手は、競技への適応性と能力を備え、良好な健康状態にあることで初めて競技への出場が認められる。たとえば、医薬品への依存、あるいは馬のウェルフェアや安全を脅かすような外科的処置を用いての競技適性の確保、または妊娠中の牝馬の使用や扶助の誤用は禁止されている。
- 3 . 競技内容や競技環境が馬のウェルフェアを害するものであってはならない。そこで、競技場の環境、馬場の状態、天候、厩舎、競技場の安全性、競技会終了後に予定される馬輸送に向けた馬の健康状態などに十分な注意を払うことが必要である。
- 4 . 競技終了後には馬の健康状態に充分留意し、また競技生活を引退する段階では人道的な扱いがとられるよう最善の努力を払わなければならない。すなわち、適正な獣医療の提供や、競技での負傷や事故への対応、安楽死対策、引退後の対策などが課題となる。
- 5 , F E Iは、馬スポーツに関わる者のすべてに対して、その専門的知識に関する最高レベルの教育を身に付けるよう強く要請する。

## 全日本エンデュランス馬術大会2004役員

名 誉 総 裁	常陸宮妃華子殿下				
大 会 会 長	千 玄室				
大 会 副 会 長	竹田 恒和	米山 順	佐藤 傳一	吉田 勝巳	
大 会 顧 問	下条進一郎	原 昌三	平間 秀彦	大久保 薫	富士川満男
	中村 薫	徳田 耕	・田 弘志	津田 一志	鎌形 敏雄
	林 光繁	三宅 勝			
大 会 参 与	安岡 嘉彦	渡辺 弘	今井 雄一	岡崎 倫三	小川 博之
	嘉納 寛治	木村スガ子	白川 将基	高石 啓一	千葉 幹夫
	富沢香代子	中川可能作	東良 弘一	山岸 哲男	三井 福成
	ジョアン・ナシブレ		坂東 一夫	富岡 英則	
大 会 委 員 長	久保田 学				
上 訴 委 員 長	八木 正巳				
上 訴 委 員	鎌田 正人	川久保洋治			
技 術 代 表	菅原 未治				
審 判 長	山崎 善輝				
審 判 員	松下 敏昭	岡本 康	武笠 昭男		
チーフスチュワート	秋田 政司				
スチュワート	原田 憲一	賀山 高	上妻 智	小野 佳幸	岡本 康
	両角 陽一	三井 雅弘			
獣 医 師 団 長	青木 修				
獣 医 師 団	中島 信之	橋本 民雄	佐藤 基佳	恩田 求	赤樫 博武
	川島 徹	風間 武彦	三輪 忠弘	下田 崇	渡辺 由紀
	中江 徳洋				
診 療 獣 医 師	田中 稔				
獣 医 アシスタント	帯広畜産大学獣医学科学生				
競 技 運 営 委 員 長	三井 福成				
競 技 運 営 副 委 員 長	柏村 文郎				
総 務 委 員 長	鳴海 直行				

総務副委員長	上保 澄夫	田中 道広				
総務委員	後藤 良忠	酒井 正樹	高橋 幸彦	大西 正和	若原 敏雄	
	広瀬 春生	榎波 淑徳	宮下 淑恵	岩田 裕美	木村 淑美	
	石澤 直子	津田 由美	池ノ谷 恵	瀬戸 得弘	鈴木 武	
	沖 浩充	伊藤摩由美	遠藤 哲	村上 好徳	野口美津子	
	常松ゆきの	高橋 花子	菅原 正樹	西嶋 健吾		
スタート・フィニッシュ	山口 佳男					
チーフタイムキーパー	小沢 友信					
タイムキーパー	西科 伸之	高瀬 俊一	両角 美和	浅野 葉子	大井 和行	
記録広報委員	黒井 敦志					
賞典委員	菅原 福次					
放送委員	川染 洋子					
救護委員	鹿追町役場保健士					
装蹄師	佐々木 憲					
走路委員長	菅原 未治					
走路副委員長	小森 忠利	高橋 俊樹	吉田 道宏			
支援隊長	本間 敏行	自衛隊員	16名			
通信連絡員	小林 正人	大野 繁則	沼田 美紀			
走路委員	田中 利男	島 一人	堀川 法広	長沢 清治	高橋 光彦	
	瀬戸 憲昭	東原誠太郎	田原 徳一	山岸 昇	沼口 貞男	
	倉田 安久	杉本 清隆	武者 正人	村上 渉	市原 和樹	
	石澤 秋男	松本 新吾	渡辺 雅人	大前 健也	渡辺 弘樹	
	石川 誠	葛西 浩二	佐藤 裕之	小林 昭夫	長谷川 直	
	獵友会鹿追支部 各乗馬クラブ					
警備委員長	内海 直亀					
警備委員	菅原 義正	佐藤 敦也	鹿追町交通安全指導員(10名)			

# 大会日程

## 9月24日(金)

- 1 馬体検査 午後2時00分から午後4時30分まで
- 2 打合せ会 午後4時40分 ウリマックホール大会議室  
菅原末治 技術代表・走路委員長  
青木 修 獣医師団長  
久保田学 大会委員長
- 3 開会式 午後5時15分(打合せ会終了後)  
(1)大会長挨拶 佐藤傳一 副大会長(日本馬術連盟副会長)  
(2)来賓挨拶 ・田弘志 鹿追町長(開催地町長)  
ジョアン・ナシブレ駐札幌オーストラリア領事  
(3)選手宣誓 蓮見清一(アラビアン ホースランチ)
- 4 交流会 午後6時30分 大草原の小さな家

## 9月25日(土)

- 1 競技開始 選手権競技 120Km(1日目)  
午前6時00分スタート(第2区間到着制限午後4時30分)  
一般競技 80Km  
午前7時00分スタート 制限タイム 9時間

## 9月26日(日)

- 1 馬体検査 午前5時30分から(選手権競技参加馬)
- 2 競技開始 選手権競技 120Km(2日目)  
午前6時30分スタート(1日目ゴールタイム差順にスタート、  
1時間以上のタイム差については7時30分同時スタート)  
制限タイム 15時間(第3区間到着制限午後1時00分)
- 3 競技終了 午後4時00分(予定)
- 4 閉会式 午後4時30分 ウリマックホール大会議室  
(1)実行委員長挨拶 三井福成 実行委員長  
(2)成績発表  
(3)褒賞授与  
(4)講評 山崎善輝 審判長  
青木 修 獣医師団長  
菅原末治 技術代表
- 5 閉会

# 大会日程

## 9月24日(金)

- 1 馬体検査 午後2時00分から午後4時30分まで
- 2 打合せ会 午後4時40分 ウリマックホール大会議室  
菅原末治 技術代表  
青木 修 獣医師団長  
久保田学 大会委員長
- 3 開会式 午後5時15分(打合せ会終了後)  
全日本エンデュランス馬術大会2004と同時開催
- 4 交流会 午後6時30分 大草原の小さな家

## 9月25日(土)

- 1 馬体検査 午後2時00分から午後4時30分まで

## 9月26日(日)

- 1 競技開始 60 Km  
午前7時00分スタート 制限タイム 7時間00分  
(初回60 Km競技者 最速タイム5時間00分)  
40 Km  
午前8時00分スタート 最速タイム 2時間30分  
(4歳以下の馬は3時間30分)  
制限タイム 4時間30分
- 2 競技終了 午後4時00分(予定)
- 3 閉会式 午後4時30分 ウリマックホール大会議室  
(5) 実行委員長挨拶 三井福成 実行委員長  
(6) 成績発表  
(7) 褒賞授与  
(8) 講評 山崎善輝 審判長  
青木 修 獣医師団長  
菅原末治 技術代表
- 5 閉会

# 全日本エンデュランス馬術大会2004実施要項

主催 日本馬術連盟

担当 全日本エンデュランス馬術大会実行委員会

後援 北海道乗馬連盟

1. 競技日程
- 平成16年9月24日(金)
- |            |       |   |       |
|------------|-------|---|-------|
| 受付         | 13:30 | ~ | 16:00 |
| 獣医検査       | 14:00 | ~ | 16:30 |
| 打合せ会       | 16:40 | ~ | 17:10 |
| 開会式        | 17:15 | ~ |       |
| ウェルカムパーティー | 18:30 | ~ |       |
- 平成16年9月25日(土)
- |                |      |
|----------------|------|
| 選手権競技120Kmスタート | 6:00 |
| 一般競技80Kmスタート   | 7:00 |
- 平成16年9月26日(日)
- |  |       |
|--|-------|
| 馬体検査(選手権競技スタート参加馬)                                 | 5:30  |
| 選手権競技2日目スタート                                       | 6:30  |
| (1日目ゴールタイム差順にスタート、1時間以上のタイム差については、7:30に同時スタートとする。) |       |
| 閉会式、表彰式  | 16:00 |
2. 競技会場
- 北海道河東郡鹿追町瓜幕  
ライディングパークを発着地とする特設コース
3. 競技種目
- 選手権競技(2日間競技) 4区間120Km  
1日目40Km×2区間  
(第2区間到着が16:30を超えると失権)  
2日目20Km×2区間  
制限タイム15時間(第3区間到着13:00を超えると失権とする)
- 一般競技 2区間80Km  
40Km×2区間  
制限タイム9時間
4. 参加資格
- 1) 競技者の年齢は、満14歳以上とする。満20歳未満の者については、保護者の同意を必要とする。
  - 2) 競技馬の年齢は5歳以上であり、過去に40Kmを1回以上、60Kmを1回以上完走していること。  
また、妊娠が明らかな馬や子連れの馬は参加できない。
  - 3) 参加人馬は参加申込み時点までに日本馬術連盟に会員登録、乗馬登録を行っていること。
  - 4) 選手の騎乗者資格はエンデュランス限定B級以上であること。



エンデュランス限定B級取得者は、40 Kmを2回以上、60 Kmを2回以上（内1回は最速タイム付）完走していること。

最速タイム付については、今年初めて60 Kmに参加する競技者が対象となる。

A級・B級取得者は40 Kmを1回以上、60 Km（最速タイム付）を1回以上完走していること。

なお、2003年12月31日までに80 Km以上の完走実績のある人馬はすべて、参加資格を有するものとする。

5) 完走実績の証明は、それぞれの主催者の発行する完走証明書の写しが必要であり、それは国の内外を問わない。

5. 褒 賞 選手権競技120 Km優勝者を日本チャンピオンとする。

各競技ごと	1位	優勝杯・賞状
	2・3位	賞状
	ベスト・コンデションドホース賞	馬着
	団体賞	賞金

（個人戦出場馬3頭以上でチーム編成し、完走上位3頭の走行時間合計の少ないチームを上位とする。またチームの所属団体の枠をこえた編成も可とする。）

6. 競技会規程 F E Iエンデュランス競技会規程を準用、J E Fエンデュランス競技会規程を遵守する。

(1) 馬体検査

1) 最初の馬体検査と1回目ホースインスペクションは9月24日（金）14:00～16:30に行う。

2) 2回目以後のホースインスペクションは、各区間到着後30分以内に受けなければならない。心拍数オーバーによる再検査は1回のみ受けられる。

3) ゴール後のホースインスペクションは30分以内に1回のみ受けられる。

(2) 検査基準

1) 心拍数は、1分間64回以下とするが、気象条件等により低い設定に変更されることがある。

2) 過度の疲労、熱射病、せん痛、筋傷害、激しい脱水症、又は異常に高い体温（40以上）の症状を呈している馬は走行できない。

3) 継続的に歩様の異常を呈し、それにより苦痛をもたらす可能性があったり、又は将来の運動能力に対する悪影響が懸念される馬は失権となる。

4) 競技に参加、又は競技を継続することによって、いまある痛み、外傷が深刻に悪化しそうな状態にある馬は失権となる。

(3) スタートは各競技ごとに一斉に行う。

(4) 順位は、最終獣医検査に合格したものの中から所要時間の少ないもの順となる。ただし走行終了後2時間は監視下におかれ、その間に異常がみられないことが条件となる。

(5) ベストコンデションドホースは上位入賞者のなかから所定の計算によって算出された得点及び実馬比較審査により決定される。

(6) 全ての出場馬と選手権競技出場選手に、ドーピング検査を実施する場合がある。

(7) 選手権競技においては最低負担重量を70 Kg【騎乗者・（飲料水・容器・携帯食料・イージーブーツは除く）・鞍・鞍下ゼッケン・重り（ウェイト）】とする。計量は最初の馬体検査時及び各ステージゴール直後に行う。（スタート前・レース中に

抜打ち計量を行う場合がある。)

ゴール後の許容範囲は - 2 K g までとする。但し、次のスタート時には 7 0 K g 以上にしなければならない。

( 8 ) 携帯電話の所持は許可される。

#### 7 . 落鉄対策

( 1 ) 各自十分な対応をすること。( 改装・イージーブーツ等)

( 2 ) 主催者で装蹄師の手配をするが、予備鉄は各自用意すること。予備鉄がないため装蹄できない場合がある。( 装蹄料は実費負担)

予備鉄は事前にゼッケン番号を明記して、大会本部にあづけること。

#### 8 . 落馬・放馬対策

落馬・放馬の際はいつ、どこでも、誰からの援助でも受けられる。

#### 9 . 参加申込み方法

( 1 ) 参加申込みの締切は、平成 1 6 年 9 月 7 日 ( 火 ) 必着とする。

( 2 ) 参加申込書には人馬の日馬連登録番号を必ず記入すること。

( 3 ) 馬の変更は申込書記入の予備馬の中から行える。( 予備馬登録 1 頭 3 , 0 0 0 円)  
ただし、9 月 1 4 日以降の変更は、変更料 2 , 0 0 0 円が掛かる。

( 4 ) 未成年の参加者は保護者の承諾書を添付すること。

( 5 ) 送付先 〒 0 8 1 - 0 3 4 1

北海道河東郡鹿追町瓜幕西 2 丁目 9 番地 ウリマックホール内  
全日本エンデュランス馬術大会 2 0 0 4 実行委員会  
事務局 田 中 道 広  
TEL 01566-7-2111 FAX 01566-7-2112

1 0 . 参加料	選手権競技	1 頭	2 0 , 0 0 0 円
	一般競技	1 頭	1 5 , 0 0 0 円
	予備馬	1 頭	3 , 0 0 0 円
	団体戦	1 頭につき	5 , 0 0 0 円

申込書発送と同時に下記に振り込むこと。

振込み先 帯広信用金庫 鹿追支店  
口座番号 普通 1 0 3 2 3 9 4  
加入者名 全日本エンデュランス馬術大会  
実行委員長 三 井 福 成

#### 1 1 . 参加馬の入厩

( 1 ) 平成 1 6 年 9 月 2 4 日 ( 金 ) ~ 9 月 2 7 日 ( 月 ) までとする。

( 2 ) 入厩料は、1 泊 1 , 5 0 0 円とする。

選手権参加馬は全頭入厩とする。

( 入厩期間は、第 1 回目インスペクション前から、最終インスペクション  
終了後 2 時間後までとする。)

#### 1 2 . 馬の移動に関して

- (1) 前年の1月1日以降に都道府県知事が実施した馬伝染性貧血症の検査を受け、陰性である証明書を携行すること。
- (2) 馬インフルエンザ予防接種の基礎及び補強を規定通り完了し、翌年から毎年1年以内に1回以上の補強接種を実施している証明書を携行すること。ただし、最終接種から2週間以内の馬は、入厩できない。
- (3) 日本脳炎の予防接種を本年2回実施している証明書を携行すること。ただし、最終接種から2週間以内の馬は入厩できない。
- (4) 釧路管内から参加する馬については、馬パラチフス陰性の証明書(釧路家畜保健衛生所発行)を携行すること。

### 13. 選手の服装

F E I エンデュランス競技会規程第817条に基づいたエンデュランス競技に適した服装で、ヘルメットは乗馬用規格で顎紐をシェル部分で3点以上固定してあるものを確実に装着しなければならない。またバックガードの着用を推奨する。

### 14. 打合せ会

- (1) 平成16年9月24日(金)16:40よりウリマックホール内会議室で行う。
- (2) 選手又は所属団体の代表者は必ず出席すること。(代理を認める。)
- (3) 打合せ会で決定あるいは確認した事項を優先する。

### 15. 表彰式

- (1) 平成16年9月26日(日)16:00よりウリマックホール内会議室で行う。
- (2) 正当な理由なく表彰式に参加しないものは、入賞の資格を失う。

### 16. その他

- (1) 選手は傷害保険に加入していること。
- (2) メディカルカードをライダーズベストの胸ポケットに必ず携行すること。
- (3) 厩舎及びその周辺の清掃は、各自相互に協力して行うこと。清掃用具は各自持参すること。
- (4) 厩舎及びその周辺は火気厳禁、禁煙とする。  
喫煙は指定された喫煙場所でのみ行うこと。
- (5) 雨よけ、日よけの装備にあたっては、大会本部の確認を受けること。
- (6) その他、この要項にない事項に関しては、F E I エンデュランス競技会規程に準ずるものとする。

= 協 賛 商 社 =

道 新 ス ポ ー ツ  
十 勝 毎 日 新 聞 社  
株式会社 アール イム ウィリアムス エージェンシー ジャパン  
ソ メ ス サ ド ル 株 式 会 社  
カンタス オーストラリア 航空  
WILD WEST RIDERS CLUB  
日 本 純 血 ア ラ ブ 馬 協 会  
宮 坂 建 設 工 業 株 式 会 社  
岩 田 建 設 株 式 会 社  
株 式 会 社 三 井 組  
道 栄 運 輸 株 式 会 社  
平 成 電 設